

1. アンケート調査 回答人数

校長

全 体：1, 330人

小 学 校： 487人

中 学 校： 460人

高等学校： 383人

教員

全 体：5, 668人

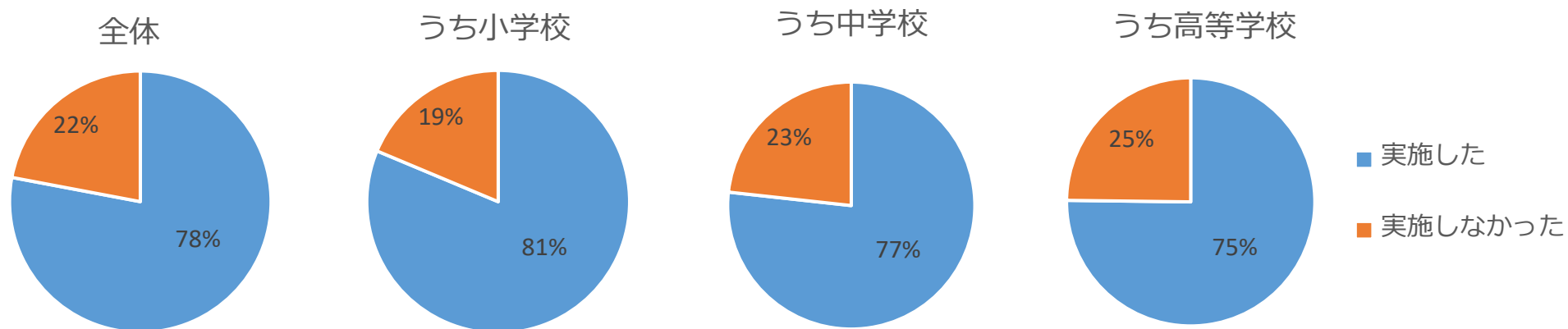
小 学 校：2, 128人

中 学 校：1, 909人

高等学校：1, 631人

2. 「研修受講履歴を活用した対話に基づく受講奨励（対話と奨励）」のR6年度実施状況（校長）

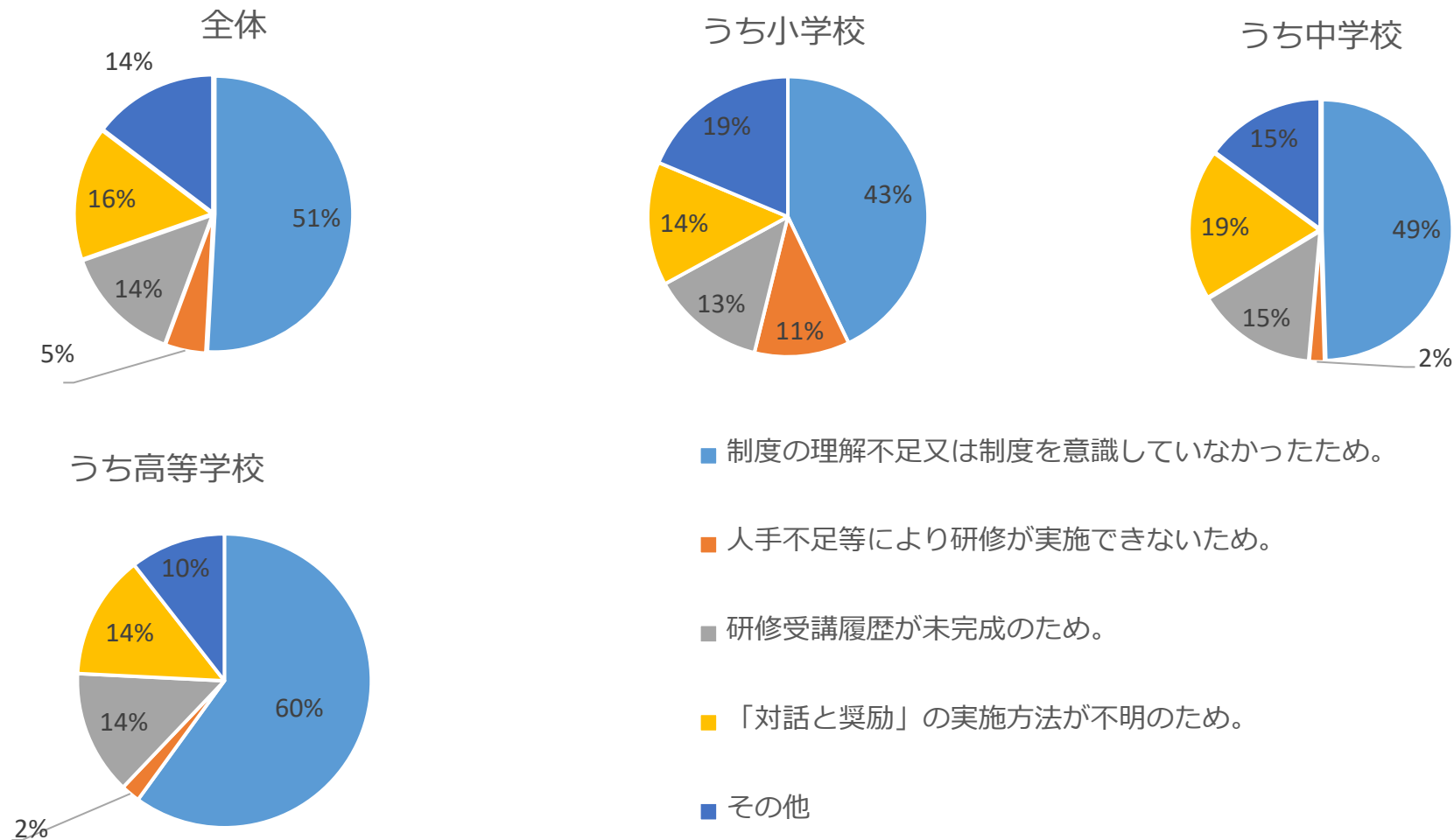
・ R6年度、「研修受講履歴を活用した対話に基づく受講奨励」を行ったと答えた校長は全体で約80%。



※新任校長はR 7 年度の実施状況を回答

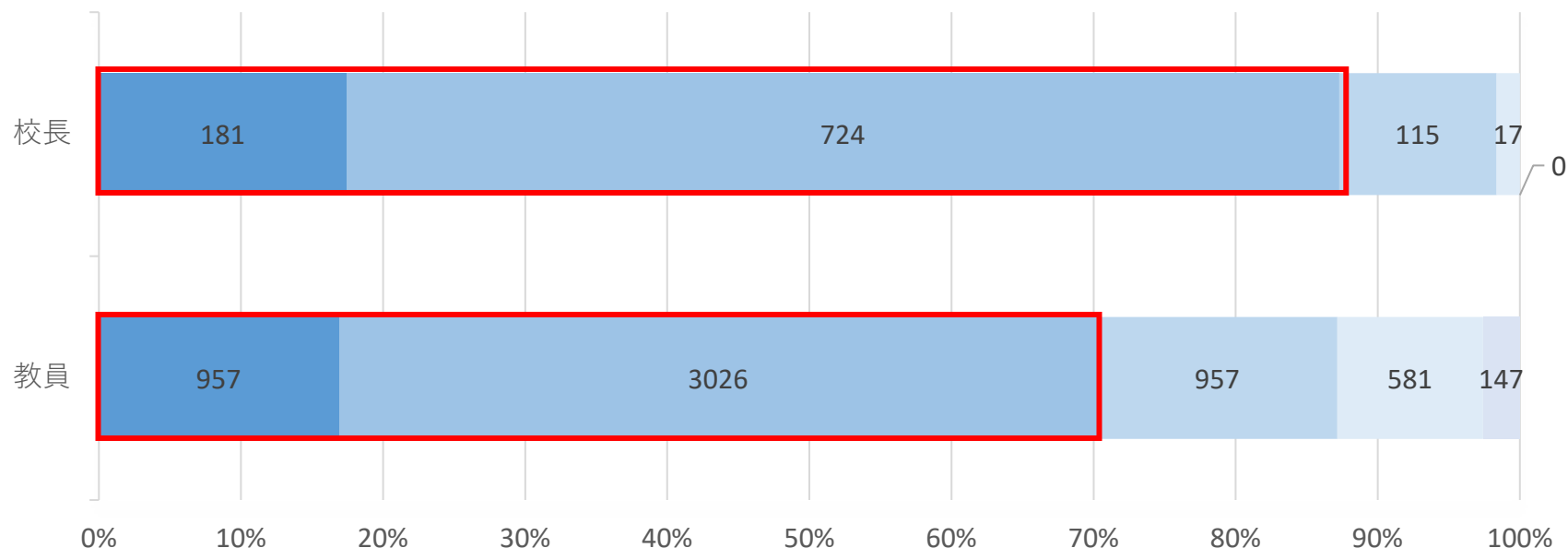
3. 「対話と奨励」を実施することが難しかった理由(校長)

・「制度の理解不足又は制度を意識していなかったため」と回答した校長が多く、高等学校の割合が高い。



4-1. 「対話と奨励」の際、教員育成指標・教員研修計画・教員自身の研修二ーズ・教員の強みや弱み・今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割等を踏まえたか

- ・「十分踏まえて行った」「おおむね踏まえて行った」と回答した校長は約85%
- ・「十分踏まえて行われた」「おおむね踏まえて行われた」と回答した教員は約70%

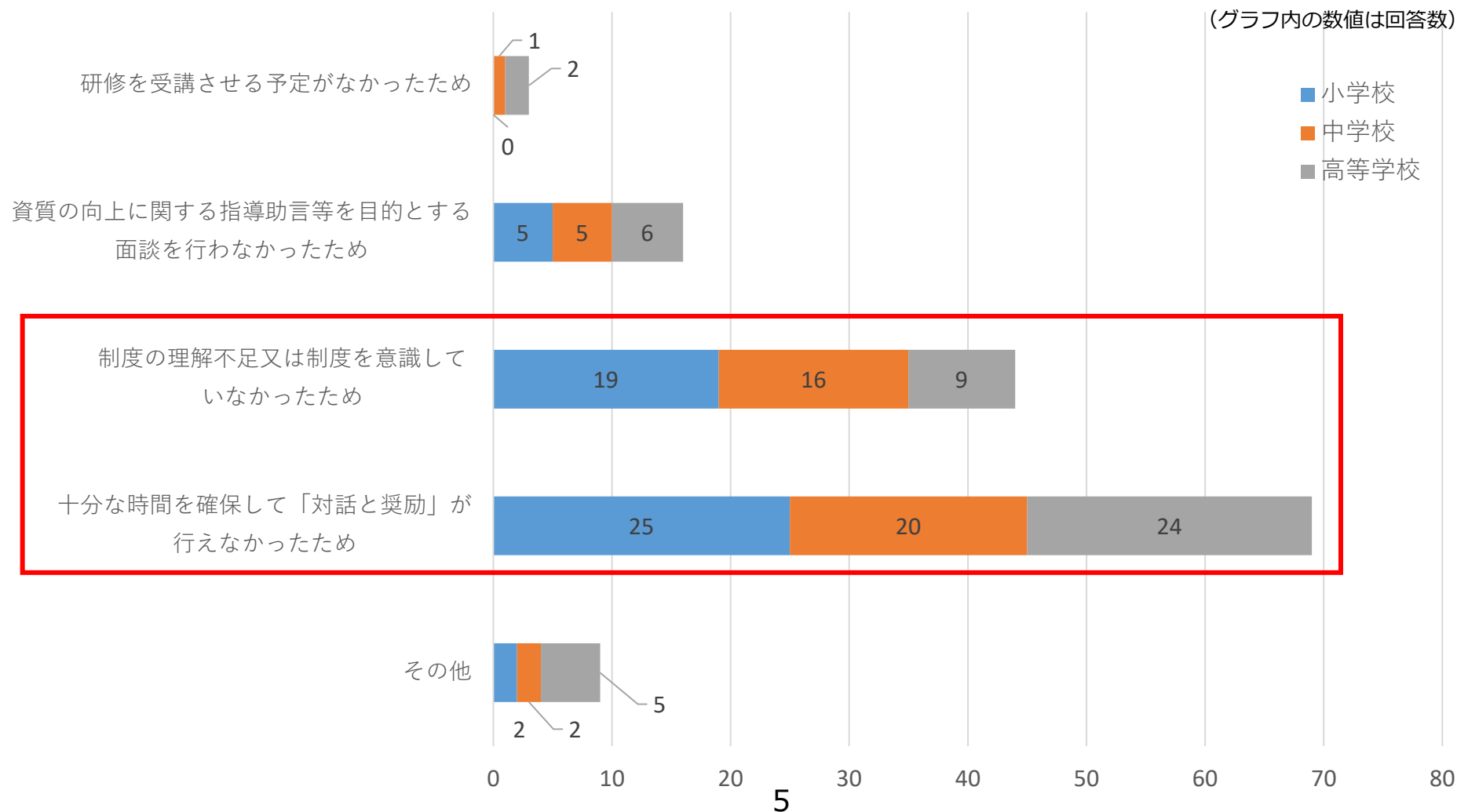


- 校長：十分踏まえて行った
- 校長：おおむね踏まえて行った
- 教員：十分踏まえて行われた
- 教員：おおむね踏まえて行われた
- 校長：あまり踏まえずに行った
- 校長：特段踏まえずに行った
- 教員：あまり踏まえずに行われた
- 教員：特段踏まえずに行われた
- 無回答

(グラフ内の数値は回答数)

4-2. 教員育成指標・教員研修計画等を「あまり踏まえずに行った」又は「特段踏まえずに行った」と回答した理由（校長）

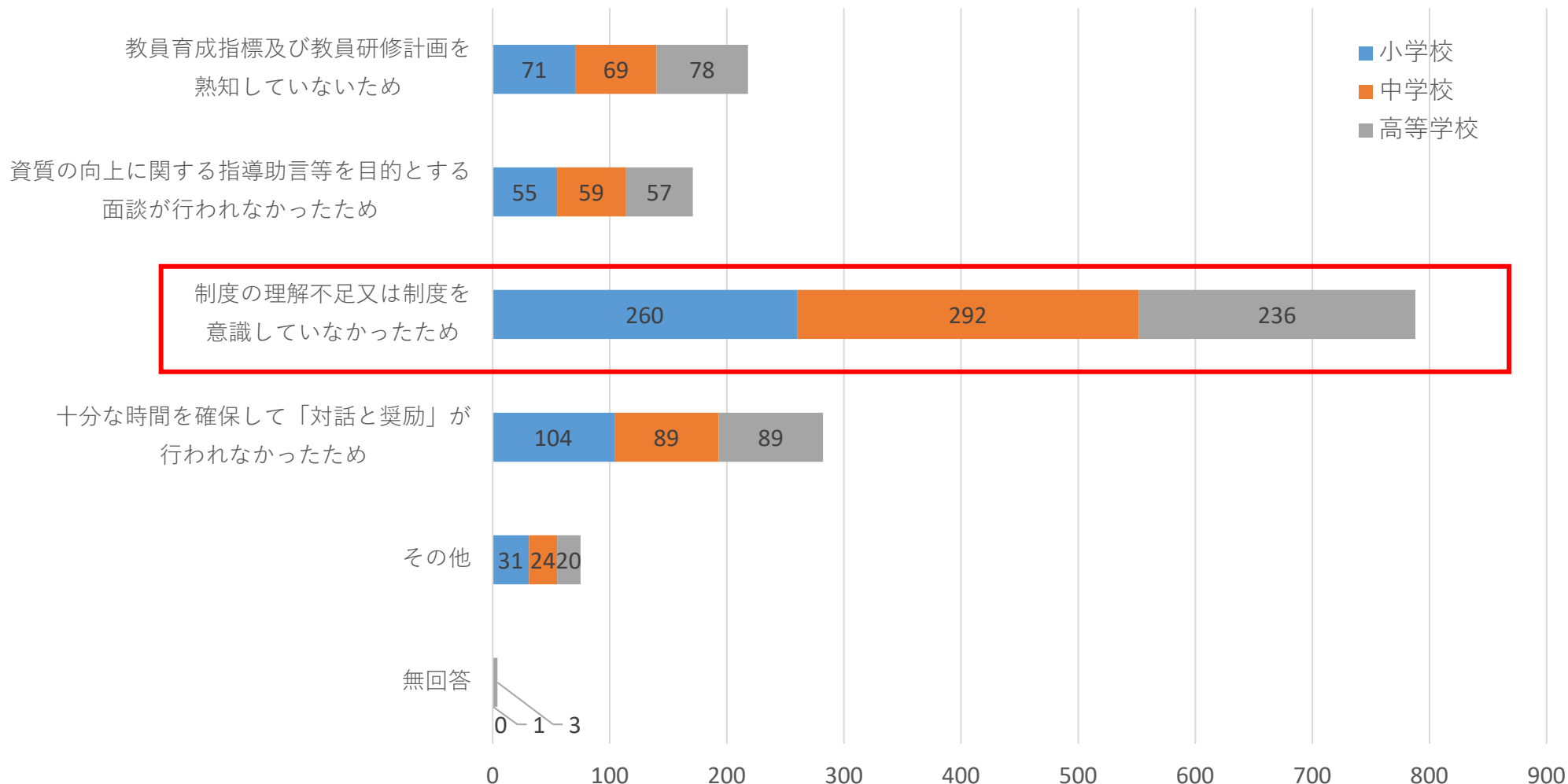
・「十分な時間を確保して「対話と奨励」を行えなかったため」、「制度の理解不足又は制度を意識していなかったため」と答えた校長が多い。



4－3．教員育成指標・教員研修計画等を「あまり踏まえずに行われた」若しくは「特 段踏まえずに行われた」と回答した理由（教員）

- ・「制度の理解不足又は制度を意識していなかったため」と答えた教員が多い。

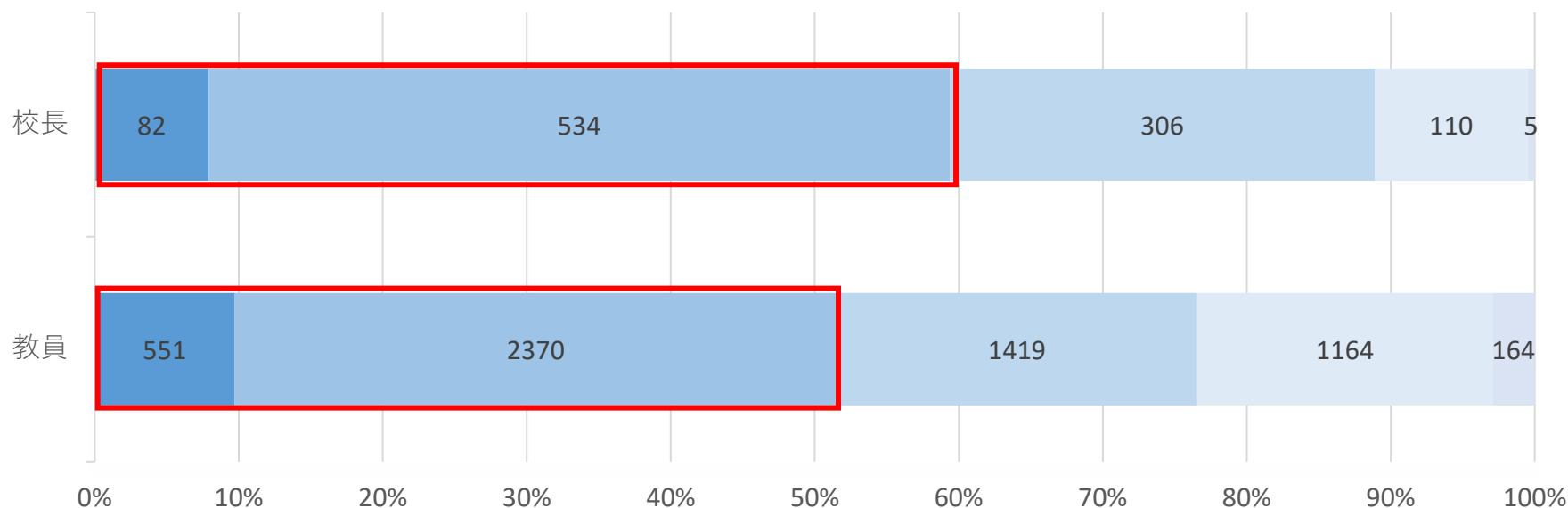
（グラフ内の数値は回答数）



5－1. 「対話と奨励」の際、教員の研修受講履歴記録を活用したか

- ・「研修受講履歴記録を十分活用できた」「研修受講履歴記録をおおむね活用できた」と回答した校長は約60%。
- ・「研修受講履歴記録を十分活用された」「研修受講履歴記録をおおむね活用された」と回答した教員は約50%。

(グラフ内の数値は回答数)

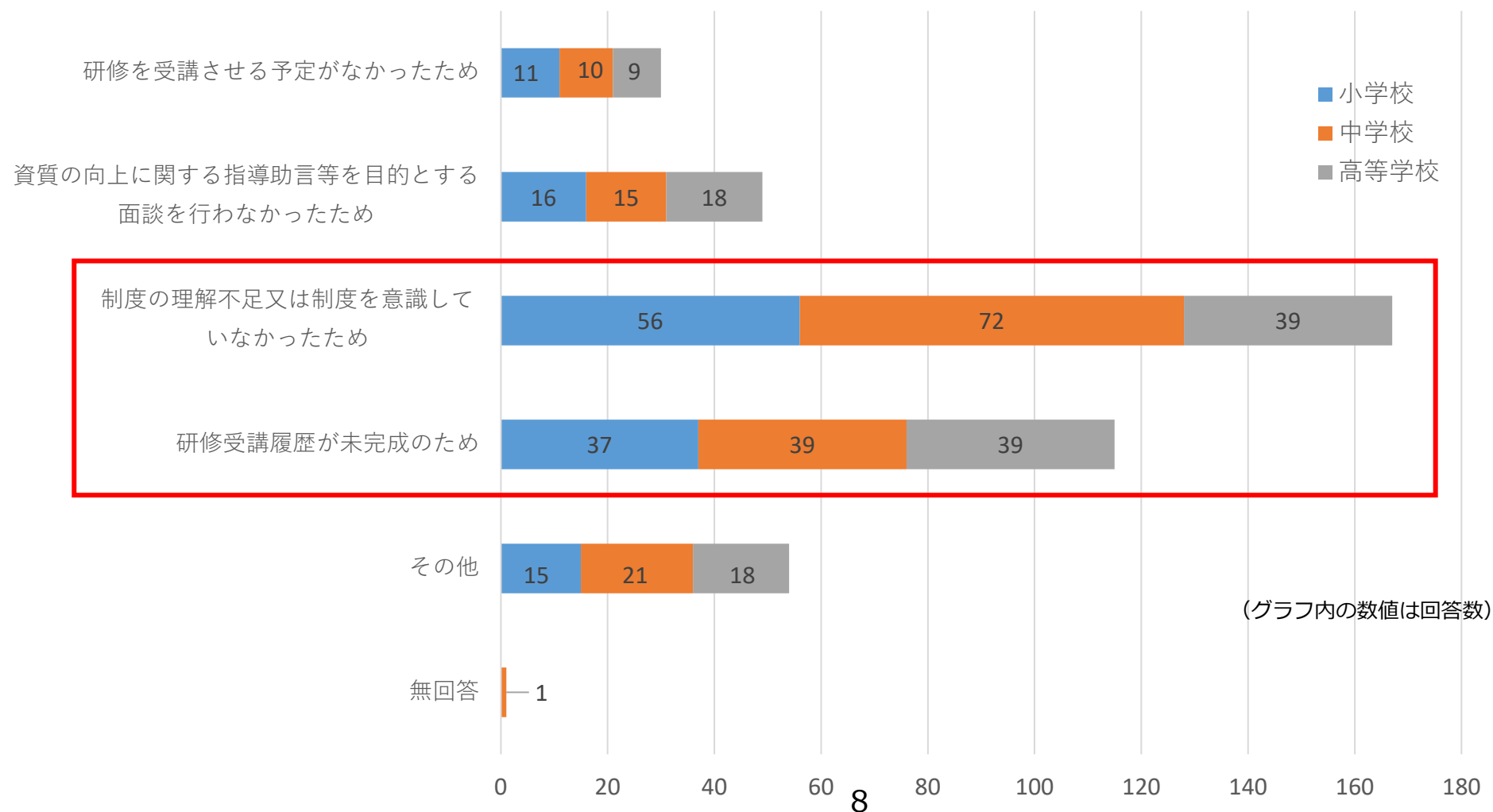


■ 校長：研修受講履歴記録を十分活用できた
 ■ 教員：研修受講履歴記録が十分活用された
 ■ 校長：研修受講履歴記録をあまり活用せずに行った
 ■ 教員：研修受講履歴記録があまり活用されなかった
 ■ 無回答

■ 校長：研修受講履歴記録をおおむね活用できた
 ■ 教員：研修受講履歴記録がおおむね活用された
 ■ 校長：研修受講履歴記録を特段活用せずに行った
 ■ 教員：研修受講履歴記録が特段活用されなかった

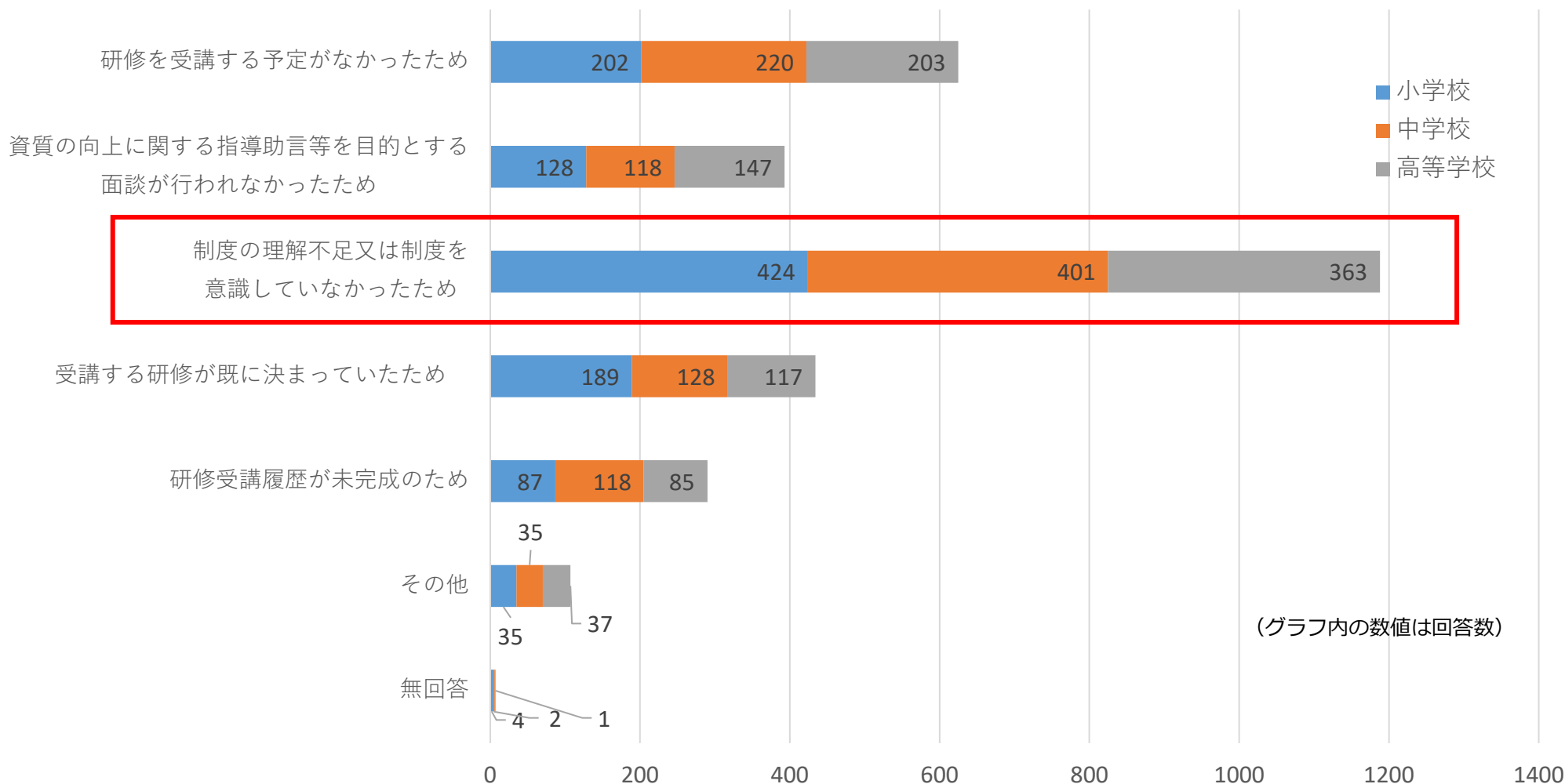
5-2. 研修受講履歴記録を「あまり活用せずに行った」若しくは「特段活用せずに行った」と回答した理由（校長）

・「制度の理解不足又は制度を意識していなかったため」、「研修受講履歴が未完成のため」と答えた校長が多い。



５－３．研修受講履歴記録を「あまり活用せずに行った」若しくは「特段活用せずに行った」と回答した理由（教員）

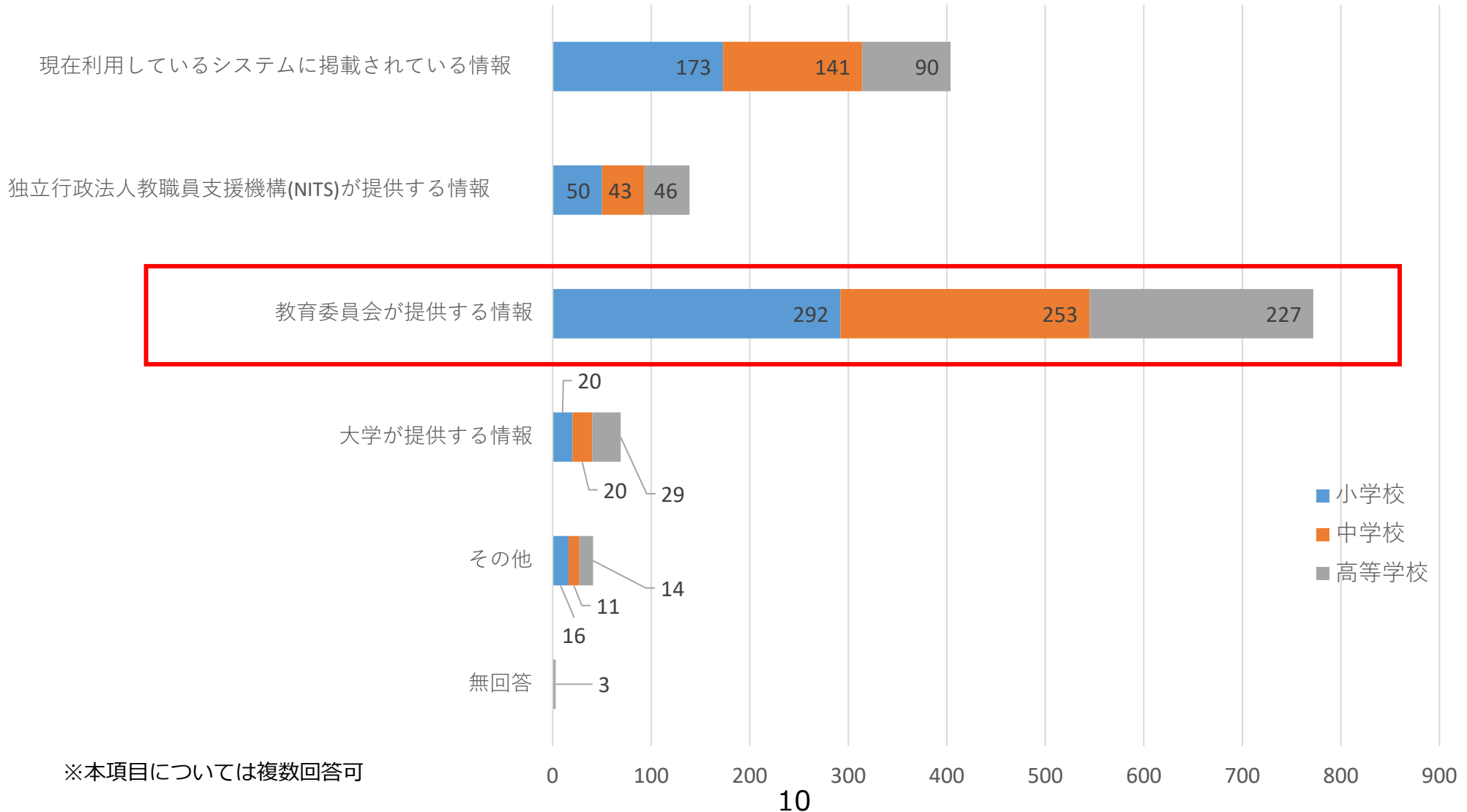
- ・「制度の理解不足又は制度を意識していなかったため」と答えた教員が多い。



6. 「対話と奨励」を実施した際、教員に奨励する研修の情報をどこから収集したか（校長）

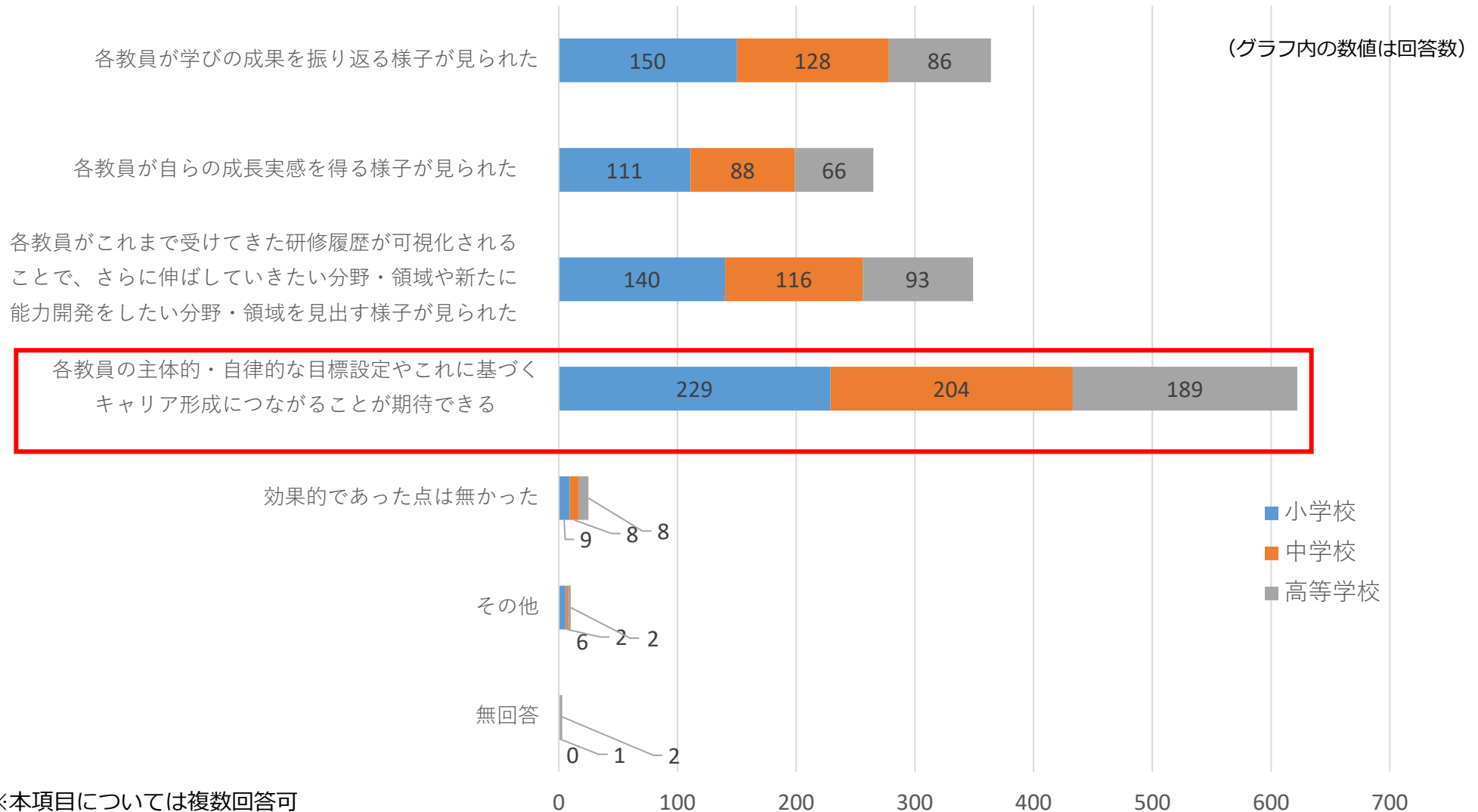
- ・「教育委員会が提供する情報」から奨励する研修情報を得た校長が多い。

（グラフ内の数値は回答数）



7-1. 「対話と奨励」が効果的であったと思う点（校長）

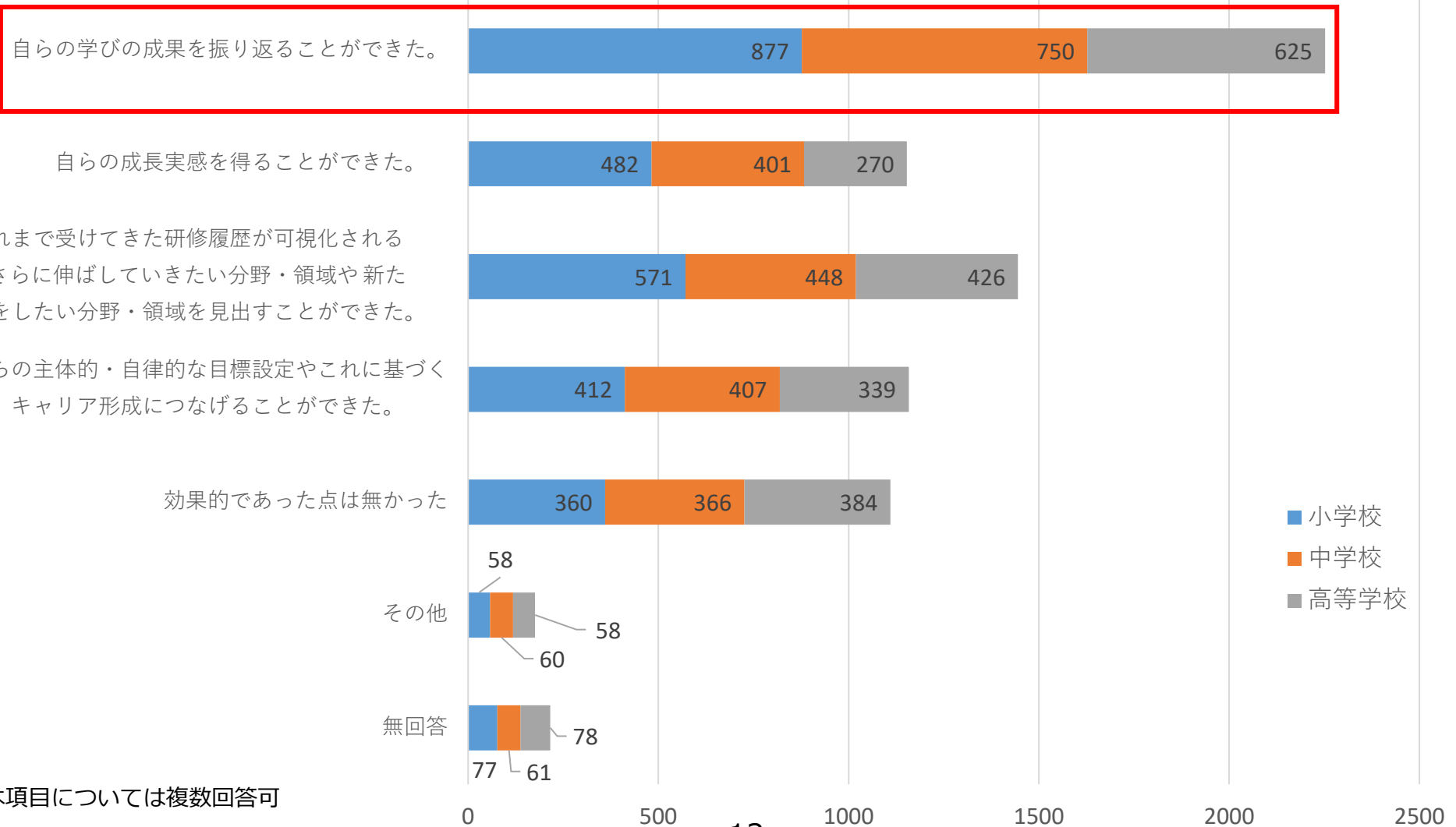
- ・「各教員の主体的・自律的な目標設定やこれに基づくキャリア形成につながることを期待できる。」と回答した校長が多い。



7-2. 「対話と奨励」が効果的であったと思う点（教員）

- ・「自らの学びの成果を振り返ることができた」と回答した教員が多い。

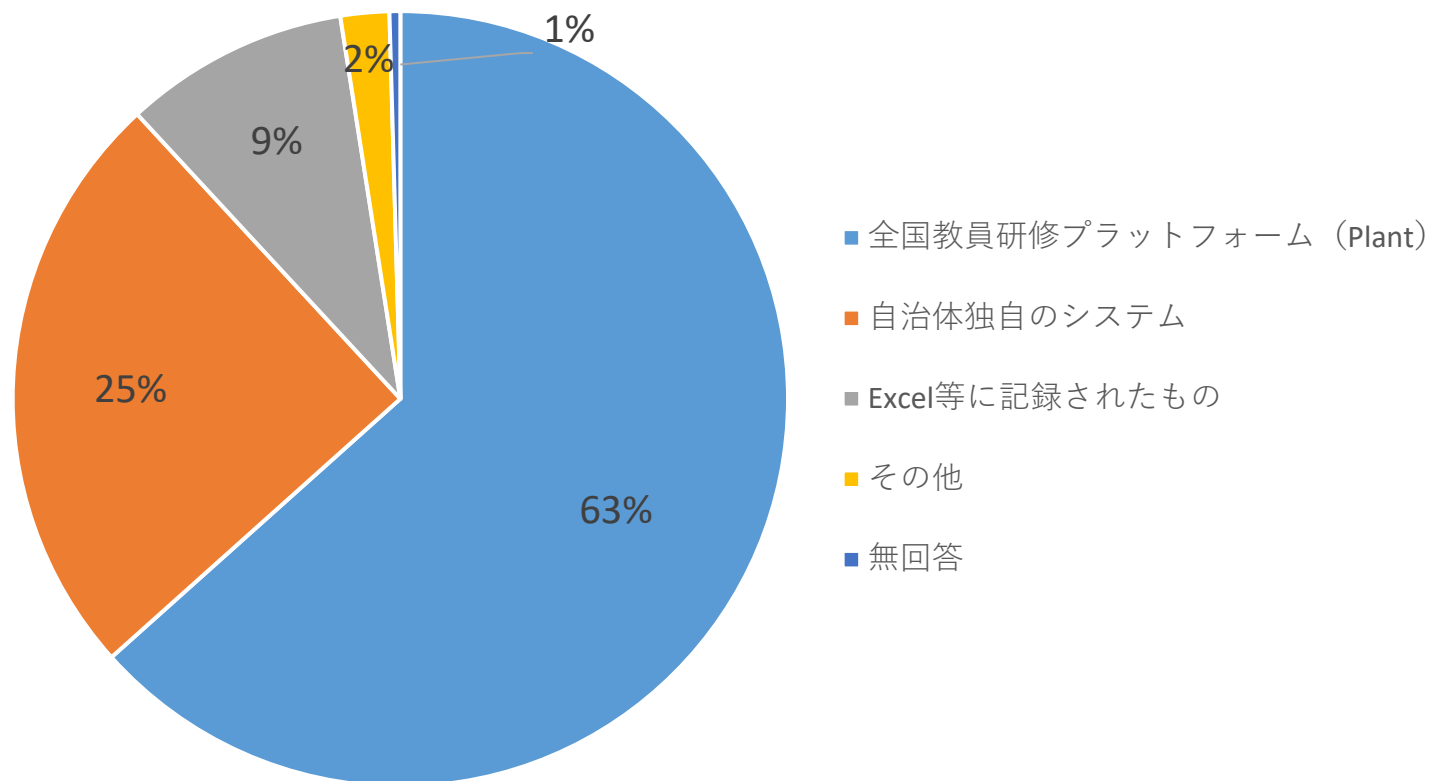
（グラフ内の数値は回答数）



※本項目については複数回答可

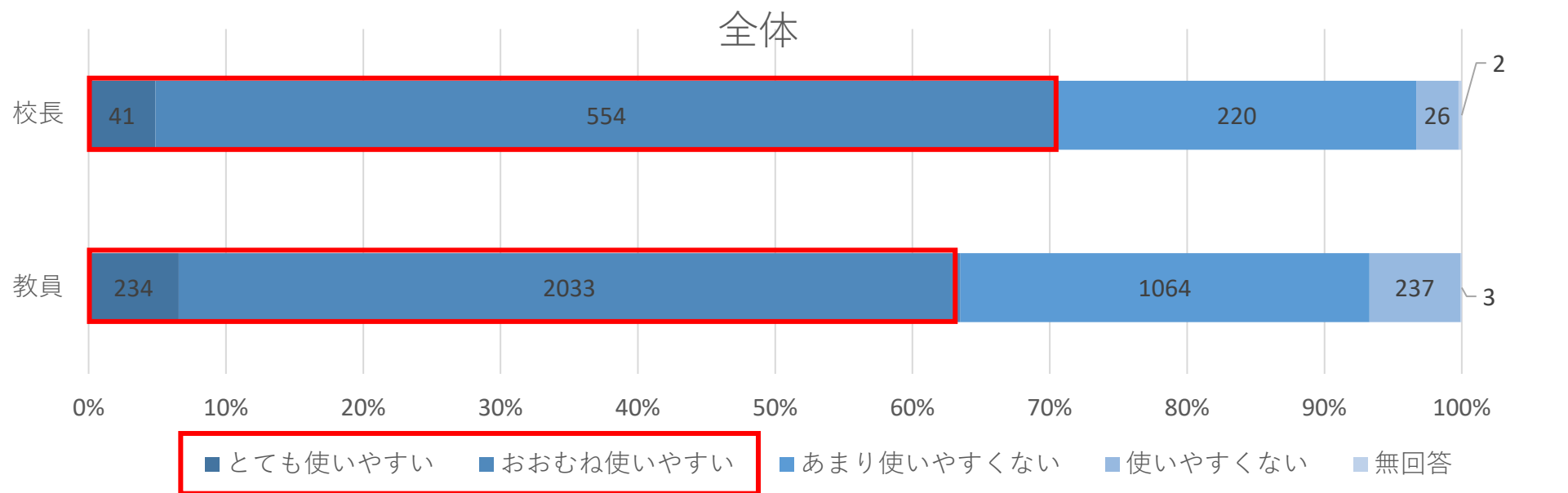
8. 「研修受講履歴」は何を用いて活用しているか

・校長、教員ともに約60%がPlantを使用している。（令和7年度、Plant使用都道府県・指定都市は、50都道府県・指定都市）



9-1. Plantを使用した感想

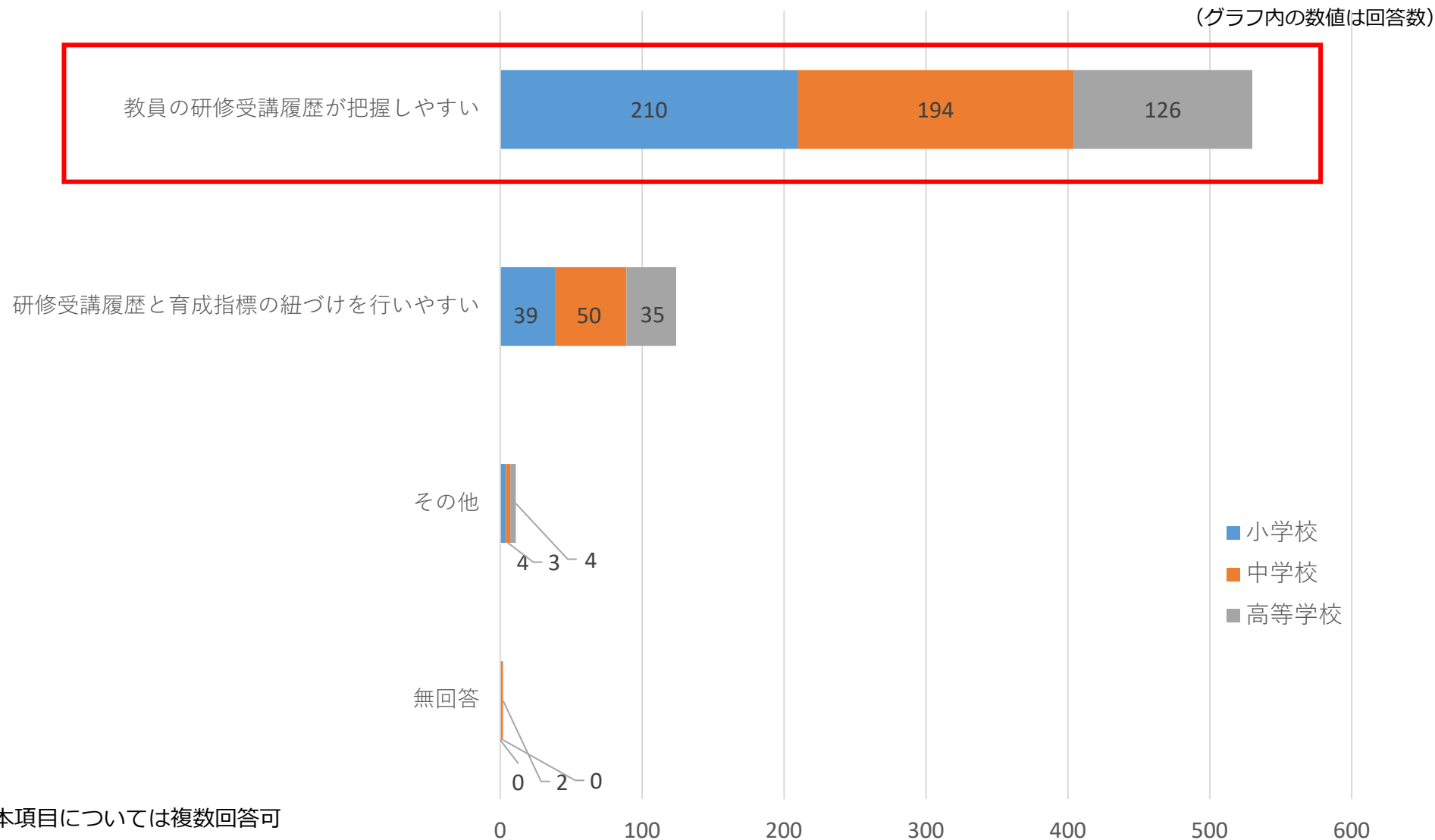
- ・「とても使いやすい」と「おおむね使いやすい」を合わせて、校長で約70%、教員で約60%。
(比率としては小・中・高で同じような傾向)



(グラフ内の数値は回答数)

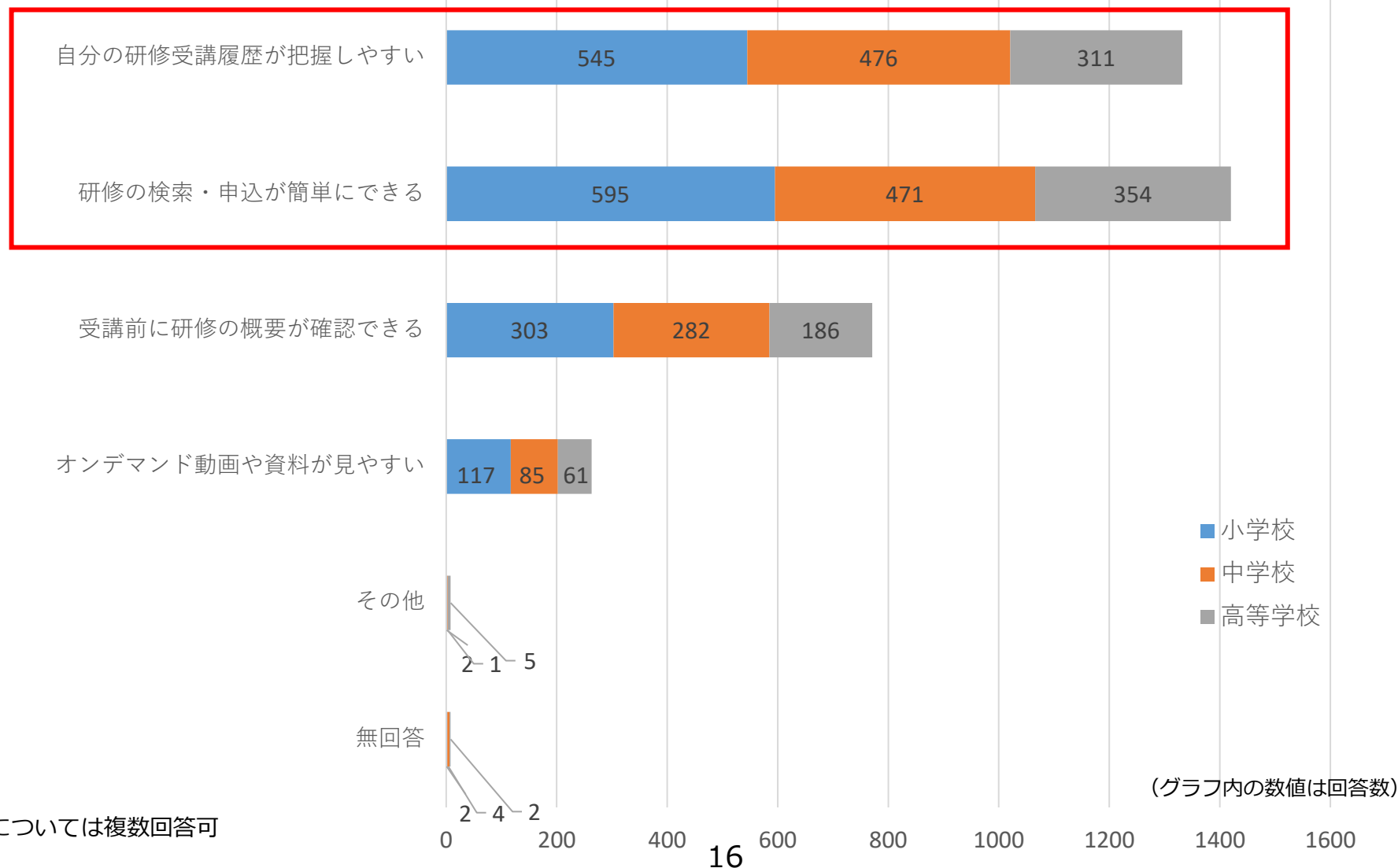
9-2. Plantについて「とても使いやすい」又は「おおむね使いやすい」と回答した理由（校長）

Plantの使いやすさについては、「教員の研修受講履歴を把握しやすい」という理由が多い。



9-3. Plantについて「とても使いやすい」又は「おおむね使いやすい」と回答した理由（教員）

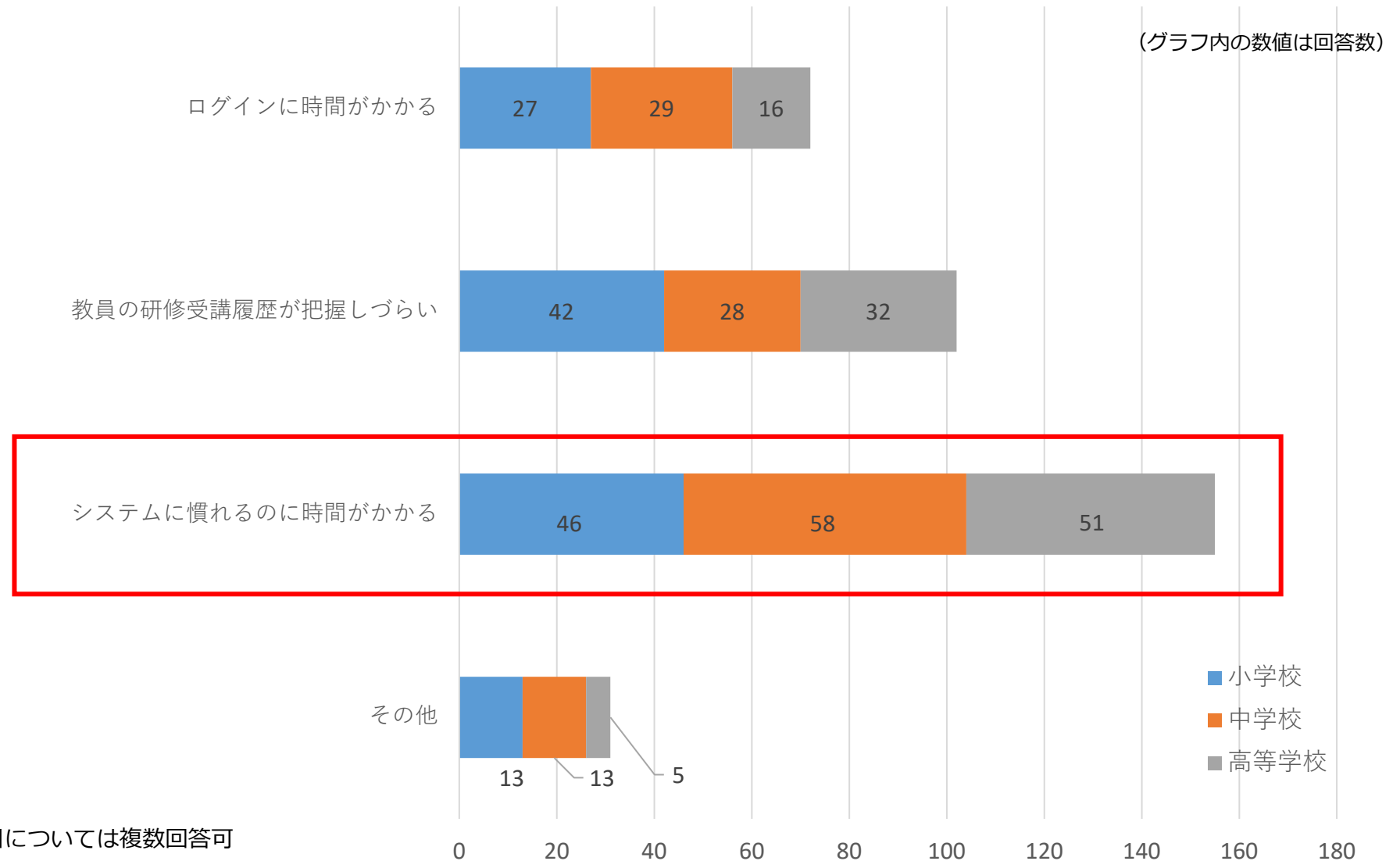
・Plantの使いやすさについては、「自分の研修受講履歴が把握しやすい」と「研修の検索・申込が簡単にできる」という理由が多い。



※本項目については複数回答可

9-4. Plantについて「あまり使いやすくない」又は「使いやすくない」と回答した理由（校長）

・Plantの使いにくさについては、「システムに慣れるのに時間がかかる」という理由が多い。



9ー5. Plantについて「あまり使いやすくない」又は「使いやすくない」と回答した理由（教員）

・Plantの使いにくさについては、「目的の研修を探すのに時間がかかる」と「システムに慣れるのに時間がかかる」という理由が多い。

ログインに時間がかかる

170

137

109

目的の研修を探すのに時間がかかる

289

255

206

システムに慣れるのに時間がかかる

289

251

193

その他

38

44

34

無回答

1

0

0

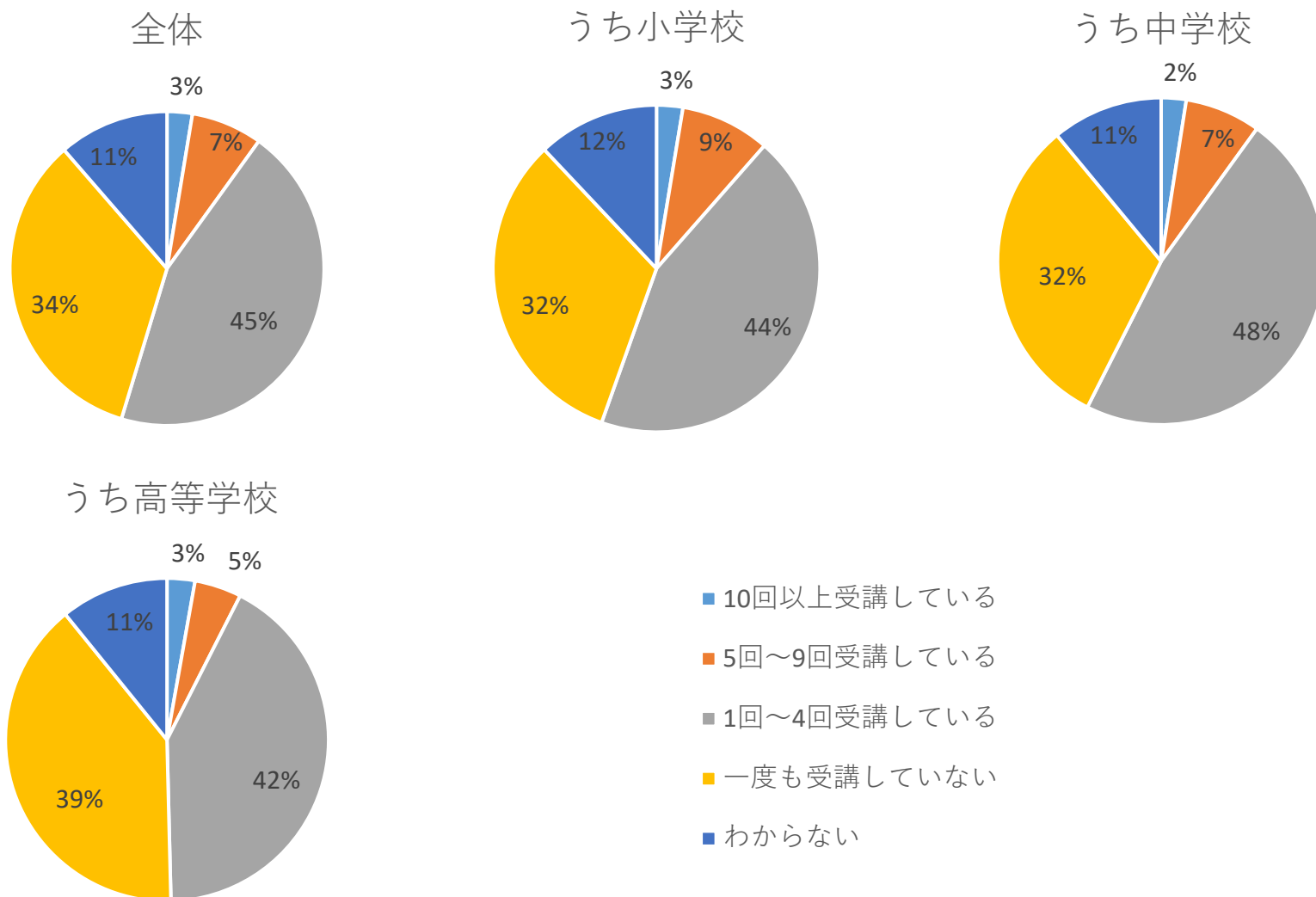
■ 小学校
■ 中学校
■ 高等学校

（グラフ内の数値は回答数）

※本項目については複数回答可

10. Plantでの一般研修（大学等が主催する教員育成指標に紐づかない研修）の受講（教員）

・ Plantでの1回以上の一般研修の受講率は、全体として50%以上であり、小学校と中学校ではほぼ同じであるが、高等学校では少し低い。



11. 「研修受講履歴記録」の作成や「対話と奨励」について、気付いたこと (校長・教員)

校長

- 研修受講記録は、これまでの経験等も把握できるので確認できるのはありがたい。「対話と奨励」を生かし、教職員の自主的な学びと成長を促していきたい。
- 異動してきた職員についても履歴をPlantで確認できるので把握しやすい。対話の糸口になる。
- 校長の職務が増えていく中、面談の中で、今後のキャリアの話やそれにまつわる研修について必要な教員とは話ができて、受講記録を見ながらの全員に対して「対話と奨励」を行うことは難しいと感じる。
- 理想的・将来的には、研修歴だけでなく、勤務歴や校務分掌等の経験などできるだけ多くの情報を確認できる人事管理システムがあって、それを確認しながら「対話と奨励」を行えるようになればよいと思う。
- 何をもって「対話と奨励」というのかが理解できていなかった。人事評価に関連した面談により、教員には自己目標を設定させ、それを説明させる中で「対話」は十分できているが、過去の研修履歴を確認しながら当該教員に不足しているところを補うような研修の助言はしていない。

教員

- 自分の研修履歴を残しておくことは今後見返せるため良いことだと感じた。
- 研修受講履歴を振り返ることで、自らの学びや実践を振り返りながら、助言を受けたり話し合ったりすることができた。
また、Plantによる申し込みや、受講する研修の要項の確認もとても便利で、使いやすい。
- 勤務時間の中で対話と奨励の時間をつくるのは難しそうだと感じる。
- 「対話と奨励」について特に説明を受けた記憶がなく、これに基づいた研修奨励もなかったと思う。このアンケートで初めて知った。職員への周知をしてほしい。
- 研修受講履歴記録の作成方法や、それぞれの研修（例えば、出張等を伴う研修・オンライン研修・校内研修・私的に申し込んだ研究会や講演会など）がどこまで対象になるのかがよく理解できておらず、記録をあまり活用することができていなかった。